

見どころダイジェスト



田安門は北の丸公園北側の靖国通りに面した位置にあります。現在の門は寛永13年(1636年)のもので、現存する旧江戸城建築遺構のうちで最古のもので。第八代将軍となった吉宗は家康にならい、自分の血筋の分家を創設しました。後に三つ揃い、「御三卿」と呼ばれます。御三卿の一つである田安家(田安徳川家)は、この田安門の近くに屋敷を与えられたため、その呼び名があります。



2月下旬頃からカンザクラが咲き始め、3月に入ると清楚なハクモクレンが咲き始めます。さらにソメイヨシノ、少し遅れて八重桜が。4月半ばには紅紫色の鮮やかなハナズオウ、5月半ばにはカラタネオガタマが。夏には、タイサンボク、ムクゲなどが美しい花を咲かせます。秋はイヌマキやハナミズキの実がなります。2月にはマンサクが、さらに、カワツヅクラが春の到来の近いことを知らせてくれます。



清水門は北の丸の東門で創建年代は不明ですが、現在の門は、万治元年(1658年)に再建されたものです。御三卿の一つである清水家は、この門の近くに屋敷を与えられたため、その名になりました。家名はこの門に由来しているのです。【雁木坂】高さがあって幅のある階段は登りにくく、階段の形が雁が行列を作った飛ぶ姿に似ているので、この名がついたと思われます。



北桔橋門は、水面高くそそり立つ石垣とともに見る者を圧倒します。この門は天守閣の背後に位置しており、それだけに江戸当時は警戒が厳重でその名の通り桔橋がかかっていました。周囲の石垣は江戸城の城壁の中で最も高く、地震に強いといわれている野面積みという工法が取られ、角の稜線部には長方形の角石を交互に積み上げ扇形のそりをつける算木積み工法が使われています。



天守閣は慶長12年(1607年)、二代将軍秀忠の代に建立されましたが、その後大改修され、寛永15年(1638年)、三代将軍家光の代に、江戸幕府の権威を象徴する、地上58mの高さの国内で最も大きな天守閣が完成しました。しかしわずか19年の明暦3年(1657年)に、江戸市中の55%を焼き尽くしたという「振り袖火事」とも呼ばれる明暦の大火で焼失し、以後天守閣は再建されませんでした。



二の丸庭園は、かつて将軍の別邸やお世継ぎの御殿があった場所です。現在の回遊式庭園は、九代将軍徳川家重時代に作成された庭の絵図面を基に、昭和43年(1968年)東御苑公開にあたり整備されました。2月は諏訪の茶屋前でウメ、4月はクルメツツジ、5月はサツキ、6月はハナショウブ、夏は池の岸辺でサルズベリが咲きます。武蔵野林を再現した雑木林では、一年を通して花や自然が楽しめます。



皇居外周の旧跡の中で、唯一今日まで江戸時代そのままに存在しているのが平川橋と平川門です。平川橋は美しいそりを持つ太鼓型で、これは景観の美しさに加え、橋の下を舟で往来するための構造なのです。本丸から近い通用門であった平川門は、大奥の女性たちが頻りに往き来した橋でもあります。高欄の擬宝珠は、慶長期の刻印があり、これは江戸城関係最古の金石文と言われています。

散策ウォーキングの休憩やお食事 おみやげはこちらどうぞ。

エコハウス ザ・フォレスト北の丸



緑に囲まれたお洒落なカフェ・デリ(Café deli)です。情報発信スポットとして、またご歓談や北の丸公園散策の休憩スポットとしてご利用下さい。

- 施設利用時間 8:30~17:30 ※1月1日は休業
- レストラン 8:30~17:00 (ラストオーダー16:30)
- ※営業内容 8:30~11:00 (喫茶のみ)
- 11:00~14:00 ランチタイム(食事・喫茶)
- 14:00~17:00 (軽食・喫茶)
- (場合により営業時間を延長することもあります)
- お問い合わせ 03-3214-3730

太陽光発電によるグリーン電力を利用
三角屋根には地球温暖化対策のひとつである「太陽光発電パネル」が設置され、太陽光によるグリーン電力を供給しています。室内に設置されているモニターには、グリーン電力の発電状況が刻々と表示されています。



メニューが豊富、ゆったりしたカフェ・デリ
安心安全の食材を使用したオリジナルのパンパーガーやサンドウィッチをはじめ、オムライスやカレー、パスタなどの軽食も充実しており、しかもリーズナブル。緑の中で、くつろぎのひとときをお過ごし下さい。



周辺情報、自然に親しむグッズ販売も
インフォメーションラックでは、北の丸公園の見どころや、環境にやさしい「エコな取組み」「自然観察」などに関する情報冊子を配布しています。また、「ギャラリー&ショップ」では、森林公園としての北の丸公園を感じてもらえる、野鳥や自然とのふれあいをテーマとしたグッズを展示・販売しています。スナック菓子等もあります。



<http://www.fng.or.jp/> 国民公園協会 皇居外苑ホームページ

皇居外苑の魅力やサービス等、様々な情報があります。最新の風景や情報があるブログページもあります。北の丸公園の情報も詳しく掲載しています！



バーコードリーダー付携帯電話で、 各名所の解説を見ることができます。

右のバーコードを読み取り、インターネット接続すると、北の丸公園の名所ガイドページへ自動的にジャンプします。リストの中から選んで解説を読むことができます。左のダイジェストにない場所も含め、携帯で気軽に情報が得られます。ぜひご利用下さい。



北の丸公園・東御苑 散策ウォーキングMAP

名所旧跡と緑あふれる北の丸公園を
健康的にウォーキングしてみませんか!?



国民公園協会

問い合わせ先：(財)国民公園協会 皇居外苑
東京都千代田区皇居外苑 1 番 1 号 TEL.03-3231-5509

都心のオアシスで森林浴しよう！

北の丸公園・東御苑 散策ウォーキング MAP



番号から次の番号まで徒歩で約 **5 分**
徒歩約 65 分コース例

数字番号はこのコースを歩いた場合の順路を表し、各番号間の距離は徒歩でゆっくり歩いて5分程度かかります。このコースでは各名所旧跡での見学時間や休憩時間は含まれていませんので、ご自分でコースを設定されるときは、観光や休憩時間を考慮した上に、番号同士の時間を目安に余裕を持って所要時間を設定して下さい。

【北の丸公園の歴史】

北の丸公園の敷地は、旧江戸城本丸の北側に位置し、三代將軍家光の頃には三男長松や春日の局、天樹院(千姫)、家光の弟駿河大納言忠長らの屋敷がありました。その後、御三卿の田安德川家が享保16年(1731年)に田安門近くに、清水徳川家が宝暦9年(1759年)に清水門近くに屋敷を与えられ、幕末までその屋敷地となっていました。明治期から終戦まで、近衛兵の兵営が置かれていましたが、昭和38年には北の丸地区を皇居外苑の一部とし、森林公園として整備することになりました。そして昭和44年(1969年)から「北の丸公園」として一般に開放され、現在に至っています。

ザ・フォレスト北の丸



北の丸公園は緑あふれる森林公園です。

環境省管轄の国民公園、「北の丸公園」では、花木や樹木、草花等の植物に限らず野鳥、昆虫なども多く見られます。近接する東御苑(宮内庁管轄)と合わせて散策すれば、花と緑を満喫できます。都心で森林浴しながら、健康的にウォーキングできる貴重な場所のひとつです。また、樹木の名前を当てながら歩いて楽しむ、「グリーンアドベンチャー」なども用意されています。さらには、江戸城史跡、歴史的遺構に、科学技術館、近代美術館などの国の文化施設があり、過去から現在、未来を肌で感じることのできる興味深いエリアでもあるのです。

7 東御苑の開苑時間

入苑料:無料
開苑日:原則として月曜日と金曜日以外の各日
<開苑時間>
4/15 ~ 8/31 : AM9:00 ~ PM5:00
9/1 ~ 10/31 : AM9:00 ~ PM4:30
11/1 ~ 2月末日 : AM9:00 ~ PM4:00
3/1 ~ 4/14 : AM9:00 ~ PM4:30
いずれも、入苑は開苑の30分前まで。祝日等により、開苑日や時間の変更されることがあります。
照会先:宮内庁 皇居東御苑管理事務所 03-3213-1111(代)

